

営業地区内お取引先企業の 景気動向調査レポート

[2022年7~9月期]

調査要領

- 調査時期 2022年9月上旬
- 調査対象期間 2022年7月~9月期(第2四半期)実績
2022年10月~12月期(第3四半期)予想
- 調査対象先 当金庫取引先 522先
- 調査地域 (但陽信用金庫の営業店所在地域)
 - ①東播磨地域 … 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
 - ②姫路地域 … 姫路市
 - ③朝来・神崎・加西地域 … 朝来市、神河町、市川町、福崎町、加西市
 - ④全営業地区 … ①、②、③の合計
- ※業種別調査地域
 - A.東播磨地域 … 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
 - B.姫路地域 … 姫路市
 - C.全営業地区 … 上記④と同様の地域
- 調査方法 渉外担当者による聞き取り調査

- 分析方法 D.I. による分析

※ D.I. (Diffusion Index)とは

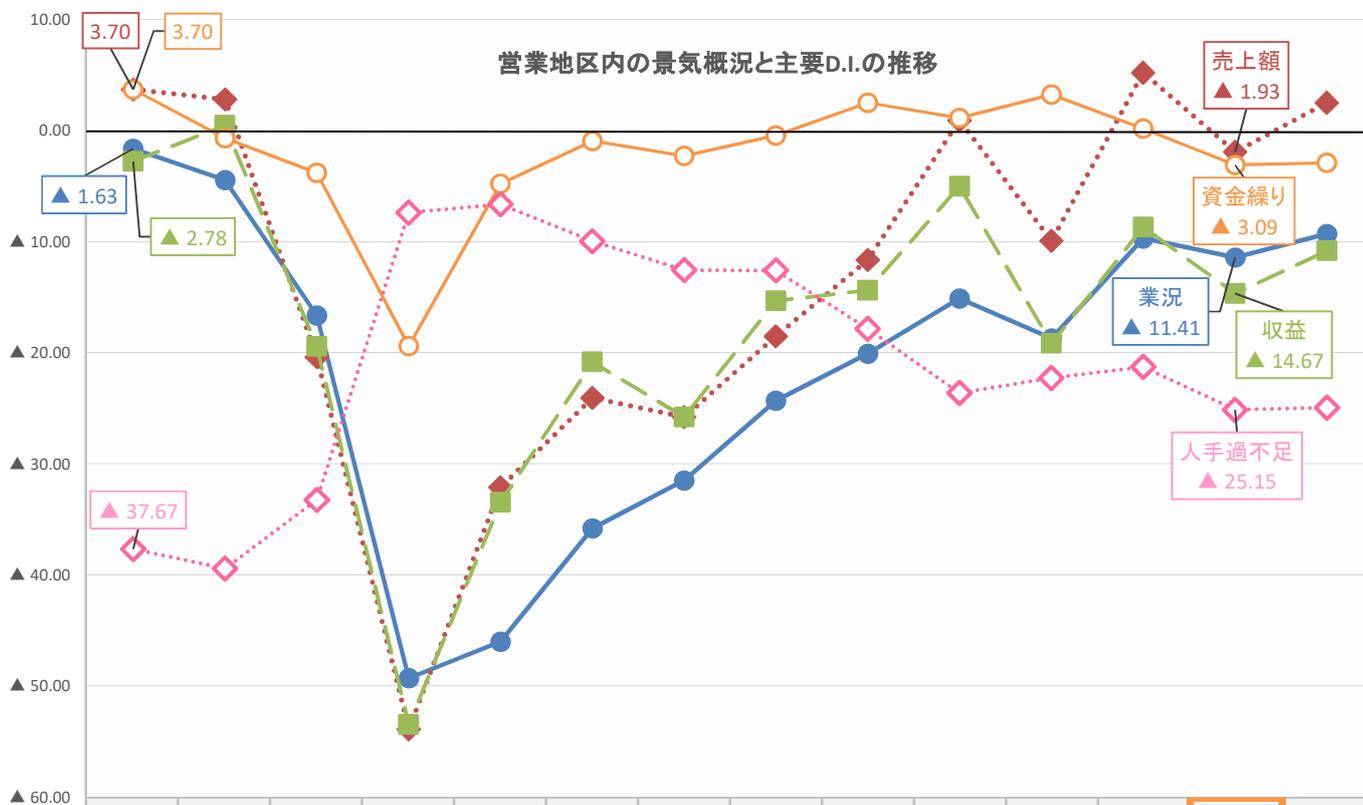
「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数

- 調査依頼先および回答状況

	依頼先数	回答数	回答率
製造業	191	190	99.5%
サービス業	80	78	97.5%
不動産業	30	30	100.0%
小売業	68	68	100.0%
卸売業	48	48	100.0%
建設業	105	104	99.0%
合計	522	518	99.2%

今期の全地域・全業種における業況D.I.は▲11.41と前期から1.72ポイント低下し、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.についても軒並み低下しています。前回調査時の今期予想よりも悪化しており、厳しい結果となりました。来期は主要D.I.すべてにおいて改善する予想となっています。ウクライナ情勢の長期化による原材料・燃料価格高騰化や、日米金利差拡大を受けた円安による物価の上昇など、まだまだ先行きは不透明な状況ですが、コロナ感染者数の増加(第7波)が若干の落ち着きを見せ、ウィズコロナによる行動制限のない日常の進展から、景気の回復が期待されるところです。

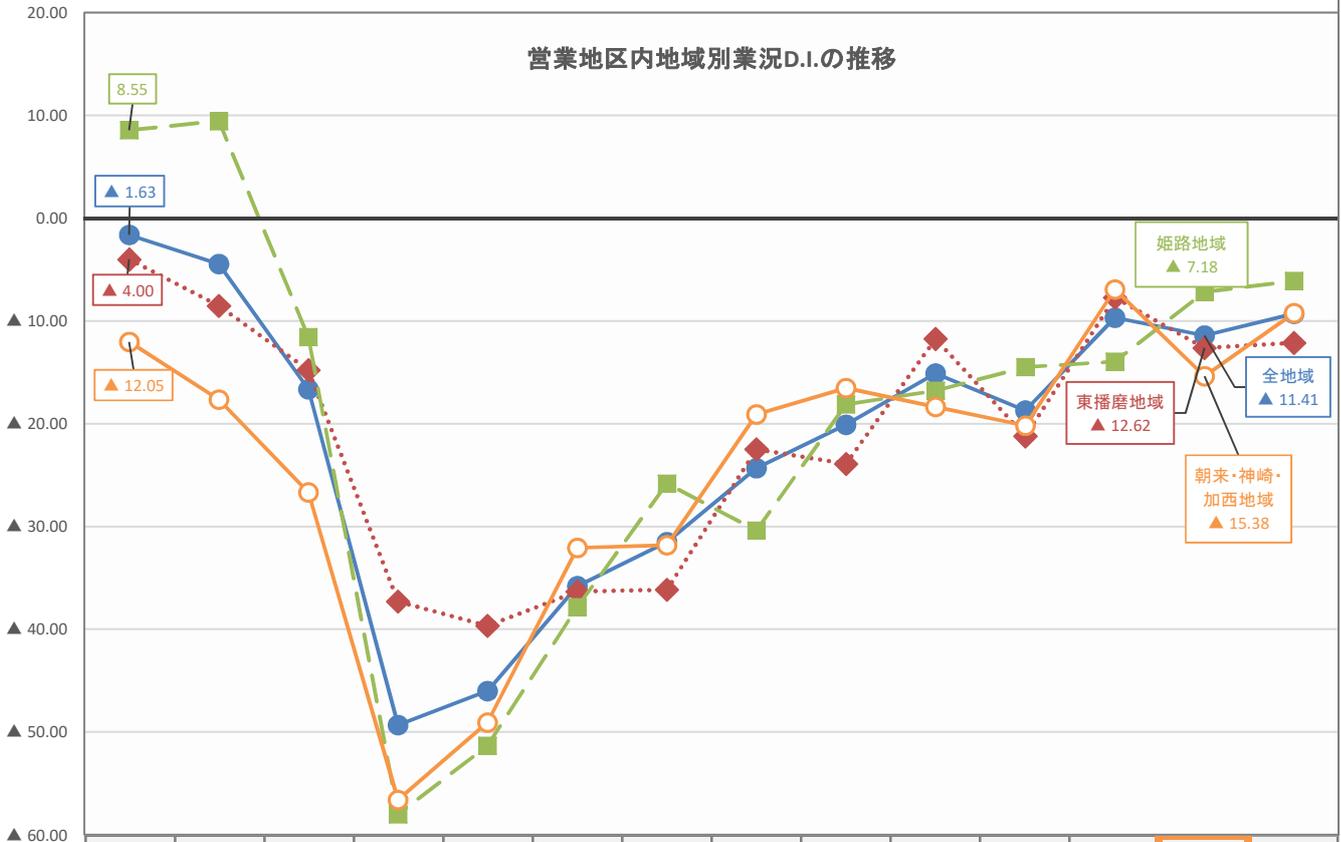
営業地区内の景気概況と主要D.I.の推移



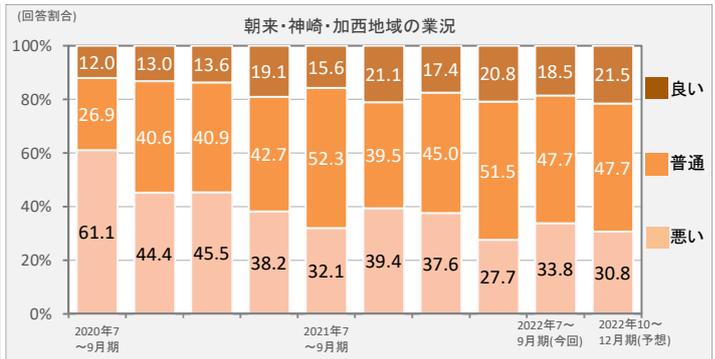
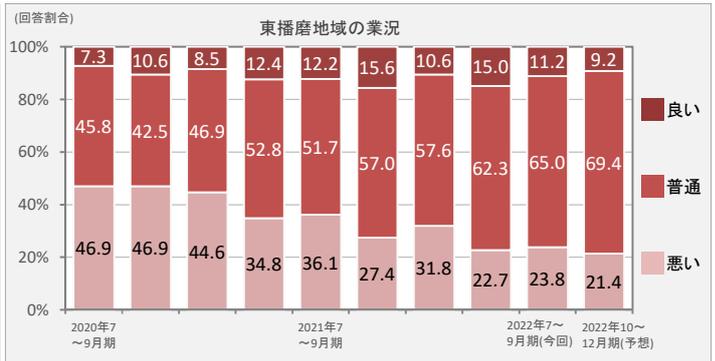
	2019年7 ~9月期	2019年10 ~12月期	2020年1 ~3月期	2020年4 ~6月期	2020年7 ~9月期	2020年10 ~12月期	2021年1 ~3月期	2021年4 ~6月期	2021年7 ~9月期	2021年10 ~12月期	2022年1 ~3月期	2022年4 ~6月期	2022年7 ~9月期 (今回)	2022年10 ~12月期 (予想)
業況	▲ 1.63	▲ 4.46	▲ 16.63	▲ 49.31	▲ 46.01	▲ 35.80	▲ 31.51	▲ 24.31	▲ 20.09	▲ 15.10	▲ 18.71	▲ 9.69	▲ 11.41	▲ 9.30
売上額	3.70	2.81	▲ 20.38	▲ 53.92	▲ 32.12	▲ 24.07	▲ 25.80	▲ 18.54	▲ 11.64	0.91	▲ 9.93	5.21	▲ 1.93	2.51
収益	▲ 2.78	0.47	▲ 19.43	▲ 53.46	▲ 33.49	▲ 20.83	▲ 25.80	▲ 15.33	▲ 14.38	▲ 5.01	▲ 19.17	▲ 8.69	▲ 14.67	▲ 10.81
資金繰り	3.70	▲ 0.70	▲ 3.80	▲ 19.40	▲ 4.78	▲ 0.92	▲ 2.28	▲ 0.46	2.52	1.14	3.24	0.19	▲ 3.09	▲ 2.90
人手過不足	▲ 37.67	▲ 39.44	▲ 33.25	▲ 7.39	▲ 6.64	▲ 9.95	▲ 12.56	▲ 12.59	▲ 17.85	▲ 23.62	▲ 22.27	▲ 21.28	▲ 25.15	▲ 24.95

今期の地域別業況は、姫路地域が▲7.18と6.79ポイント改善したものの、東播磨地域は▲12.62と4.89ポイント低下、朝来・神崎・加西地域は▲15.38と8.46ポイント低下したことにより、全地域では1.72ポイント低下の▲11.41となりました。来期は、全地域および全ての地域別で改善する予想となっています。

営業地区内地域別業況D.I.の推移

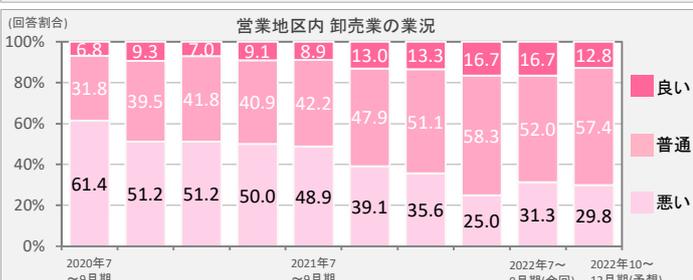
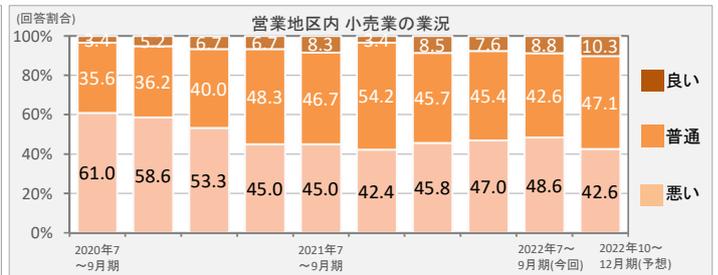
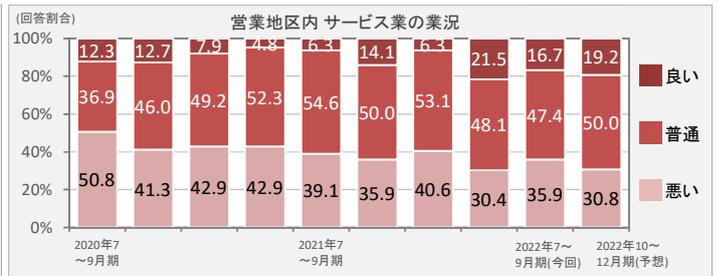
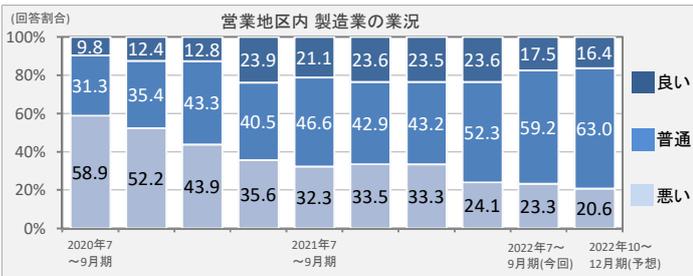
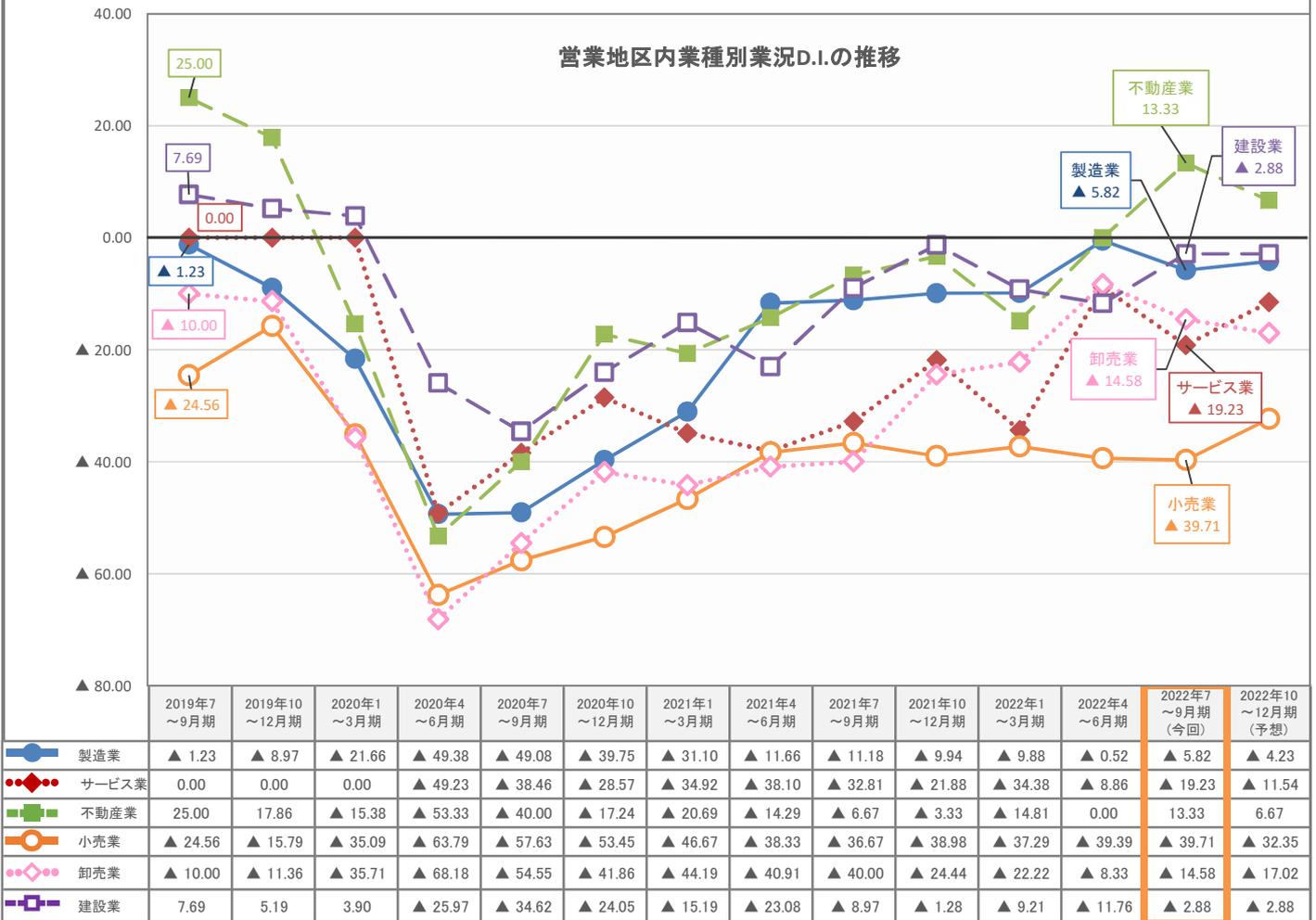


	2019年7～9月期	2019年10～12月期	2020年1～3月期	2020年4～6月期	2020年7～9月期	2020年10～12月期	2021年1～3月期	2021年4～6月期	2021年7～9月期	2021年10～12月期	2022年1～3月期	2022年4～6月期	2022年7～9月期(今回)	2022年10～12月期(予想)
● 全地域	▲ 1.63	▲ 4.46	▲ 16.63	▲ 49.31	▲ 46.01	▲ 35.80	▲ 31.51	▲ 24.31	▲ 20.09	▲ 15.10	▲ 18.71	▲ 9.69	▲ 11.41	▲ 9.30
◆ 東播磨地域	▲ 4.00	▲ 8.52	▲ 14.79	▲ 37.29	▲ 39.66	▲ 36.31	▲ 36.16	▲ 22.47	▲ 23.89	▲ 11.73	▲ 21.23	▲ 7.73	▲ 12.62	▲ 12.14
■ 姫路地域	8.55	9.46	▲ 11.56	▲ 58.00	▲ 51.32	▲ 37.84	▲ 25.83	▲ 30.41	▲ 18.12	▲ 16.78	▲ 14.48	▲ 13.97	▲ 7.18	▲ 6.11
○ 朝来・神崎・加西地域	▲ 12.62	▲ 17.65	▲ 26.67	▲ 57.01	▲ 49.07	▲ 32.08	▲ 31.82	▲ 19.09	▲ 16.51	▲ 18.35	▲ 20.18	▲ 6.92	▲ 15.38	▲ 9.23

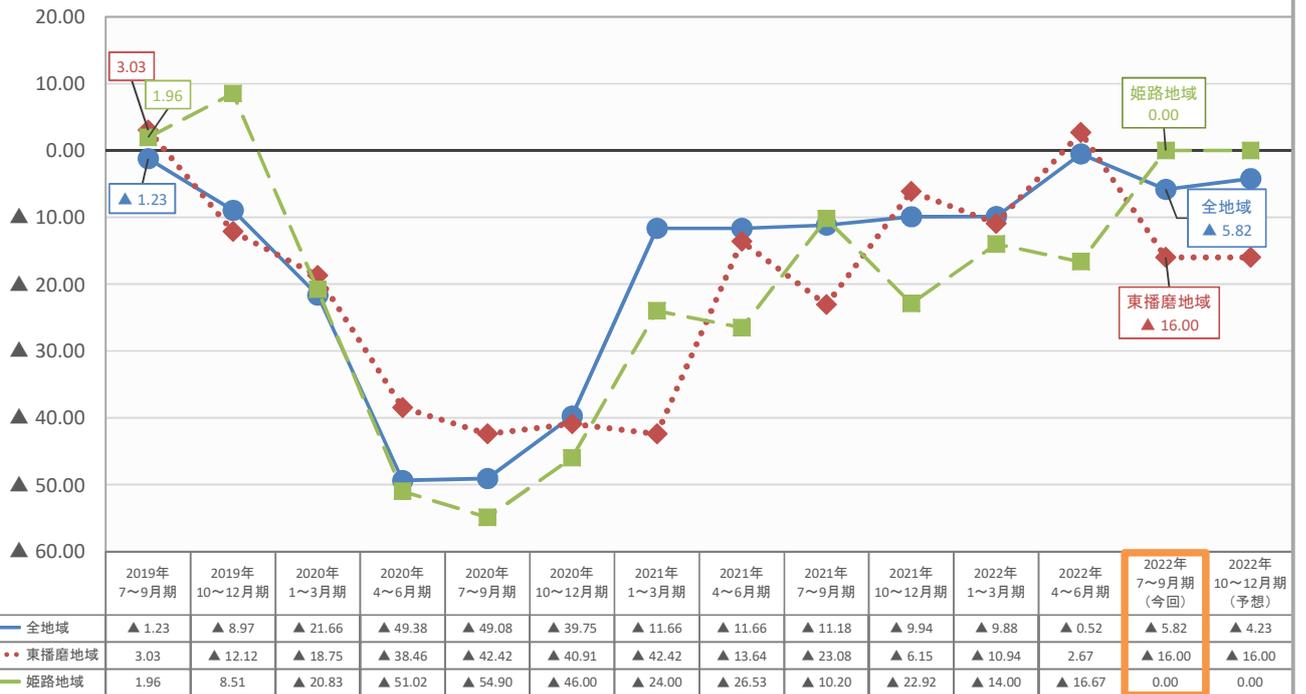


業種別では、製造業が▲5.82と5.30ポイントの低下、サービス業が▲19.23と10.37ポイント低下、不動産業が13.33と13.33ポイント改善、小売業が▲39.71と0.32ポイント低下、卸売業が▲14.58と6.25ポイントの低下、建設業が▲2.88と8.88ポイント改善しました。来期は、製造業・サービス業・小売業が改善、建設業が横ばい、不動産業・卸売業が低下する予想となっています。

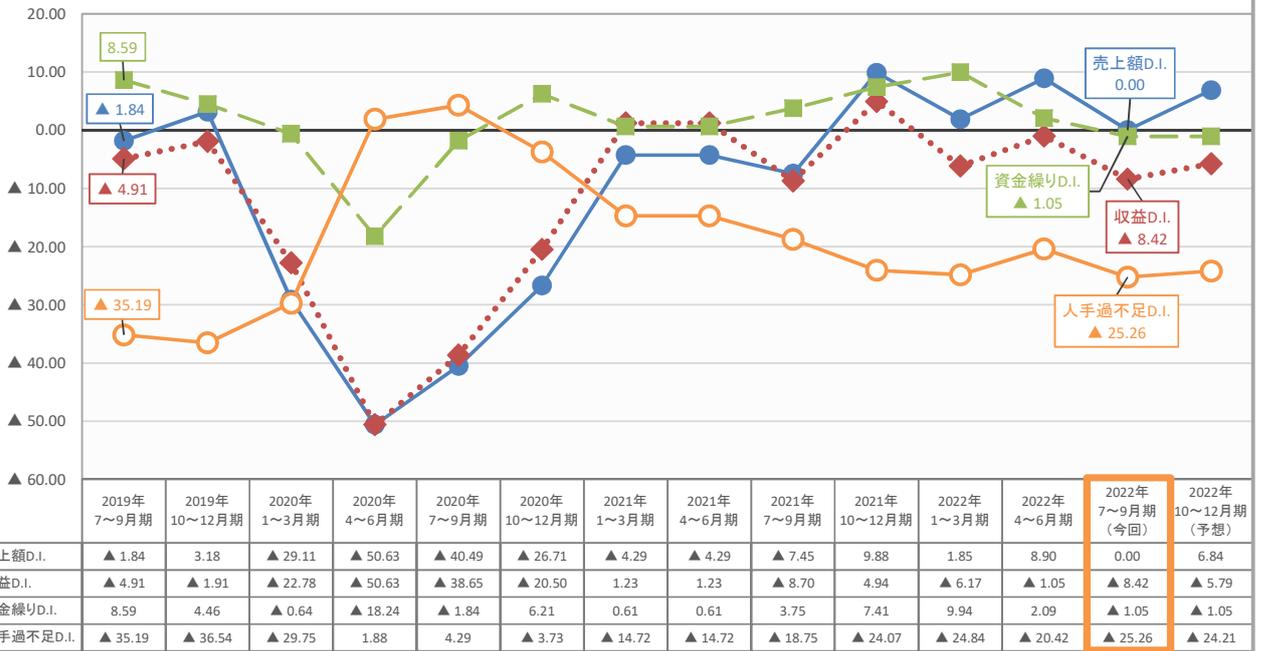
営業地区内業種別業況D.I.の推移



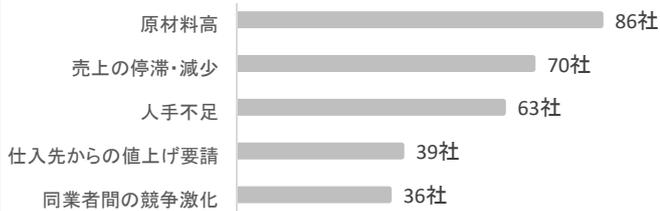
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は▲5.82と、前期から 5.30 ポイント低下しています。東播磨地域は▲16.00と 18.67 ポイントの低下、姫路地域は 16.67 ポイント改善し 0.00 となりました。来期は全地域で若干の改善、東播磨地域・姫路地域はともに横ばいの予想となっています。



その他主要D.I. >> 今期は、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.のすべてで低下し、資金繰りD.I.は2年ぶりにマイナス域となるなど厳しい実績となりました。来期は売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.は改善し、資金繰りD.I.は横ばいの予想となっています。



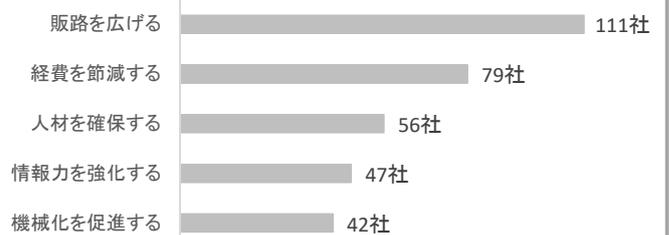
経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



【その他の問題点】・資材調達難、電力高騰、材料不足 など

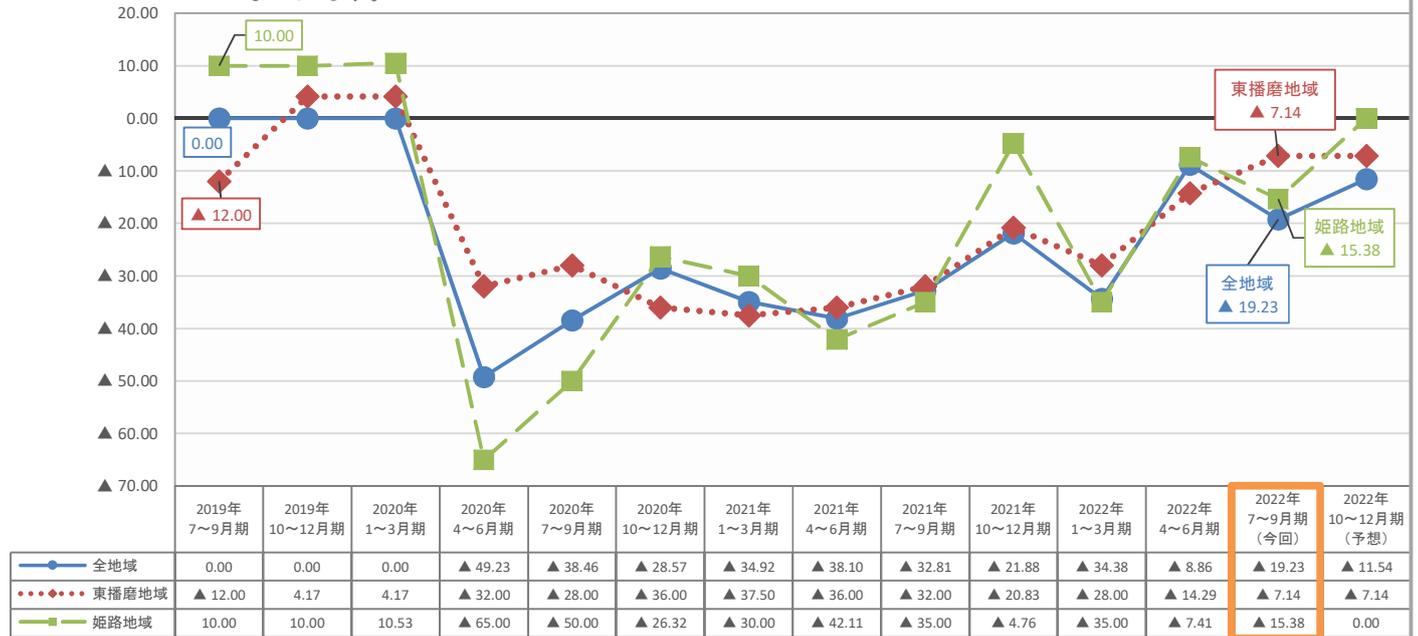
【人件費以外の経費の増加】・光熱費(2社)

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

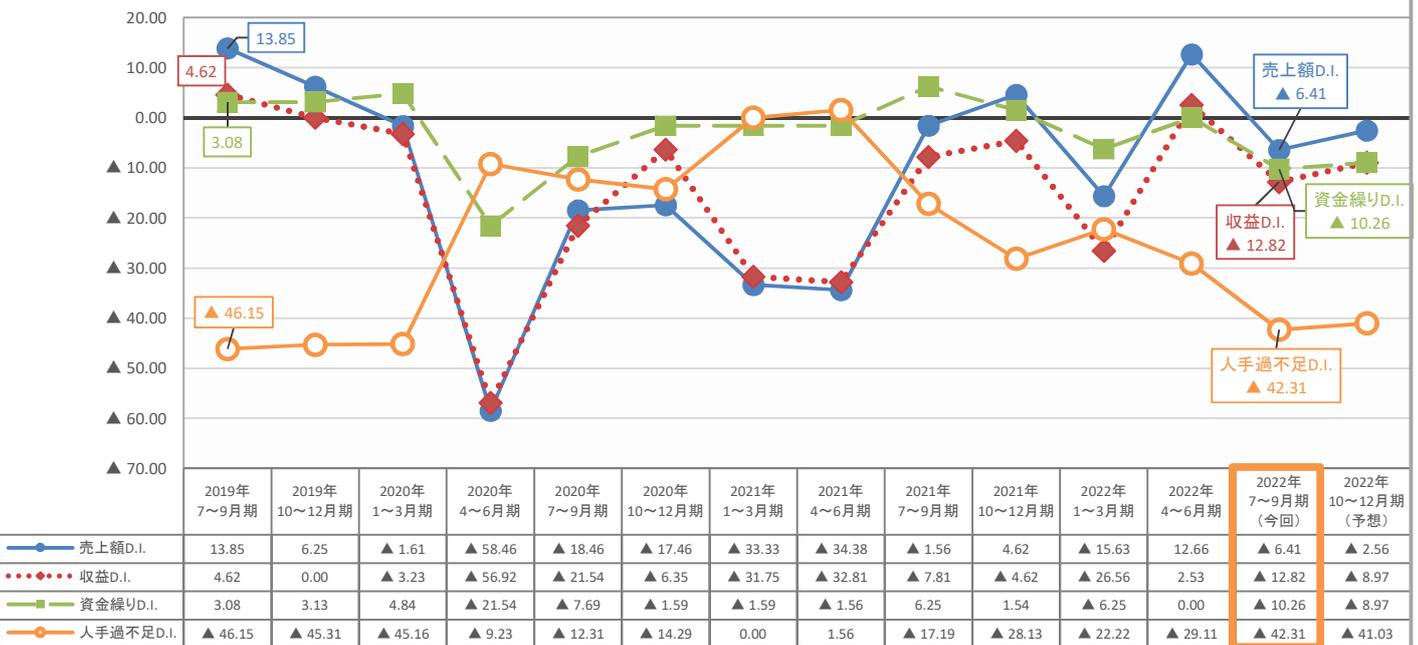


【その他の重点経営施策】・組織強化、新規事業 など

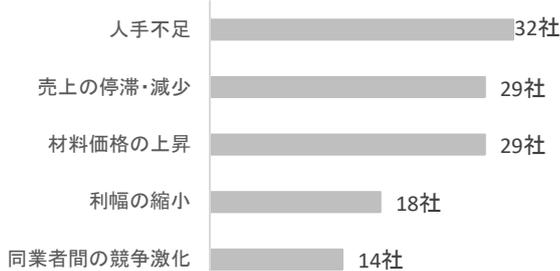
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は▲19.23 と、前期から 10.37 ポイント低下しています。東播磨地域は▲7.14 と 7.15 ポイントの改善、姫路地域は ▲15.38 と 7.97 ポイント低下しています。来期は全地域・姫路地域で改善、東播磨地域は横ばいの予想となっています。



その他主要D.I. >> 今期は、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.すべてが前期から低下しています。来期は今期実績の反動から、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.のすべてで改善の予想となっています。

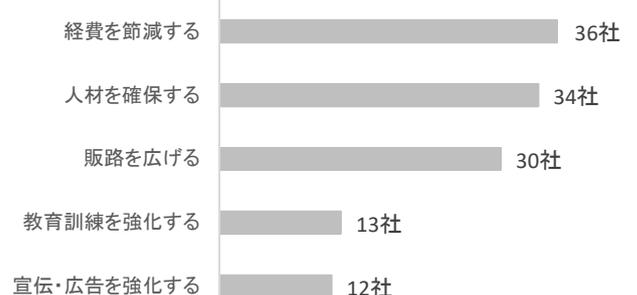


経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

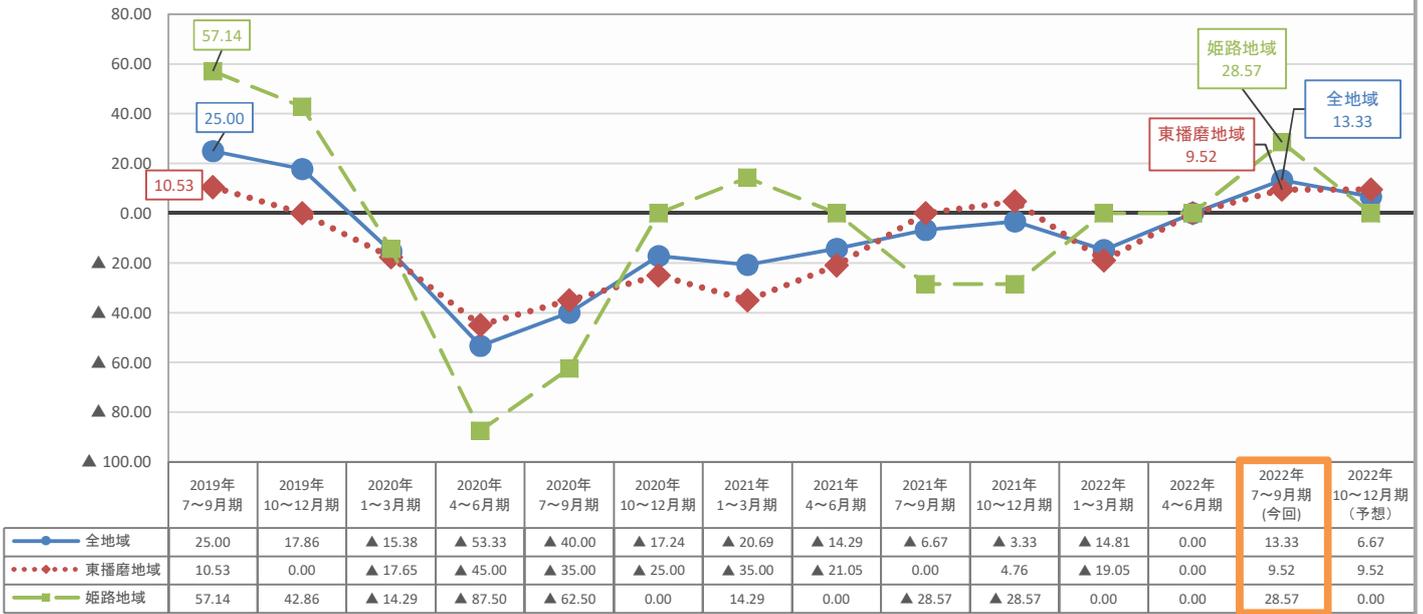


【その他の問題点】・納者の遅延、在庫 など

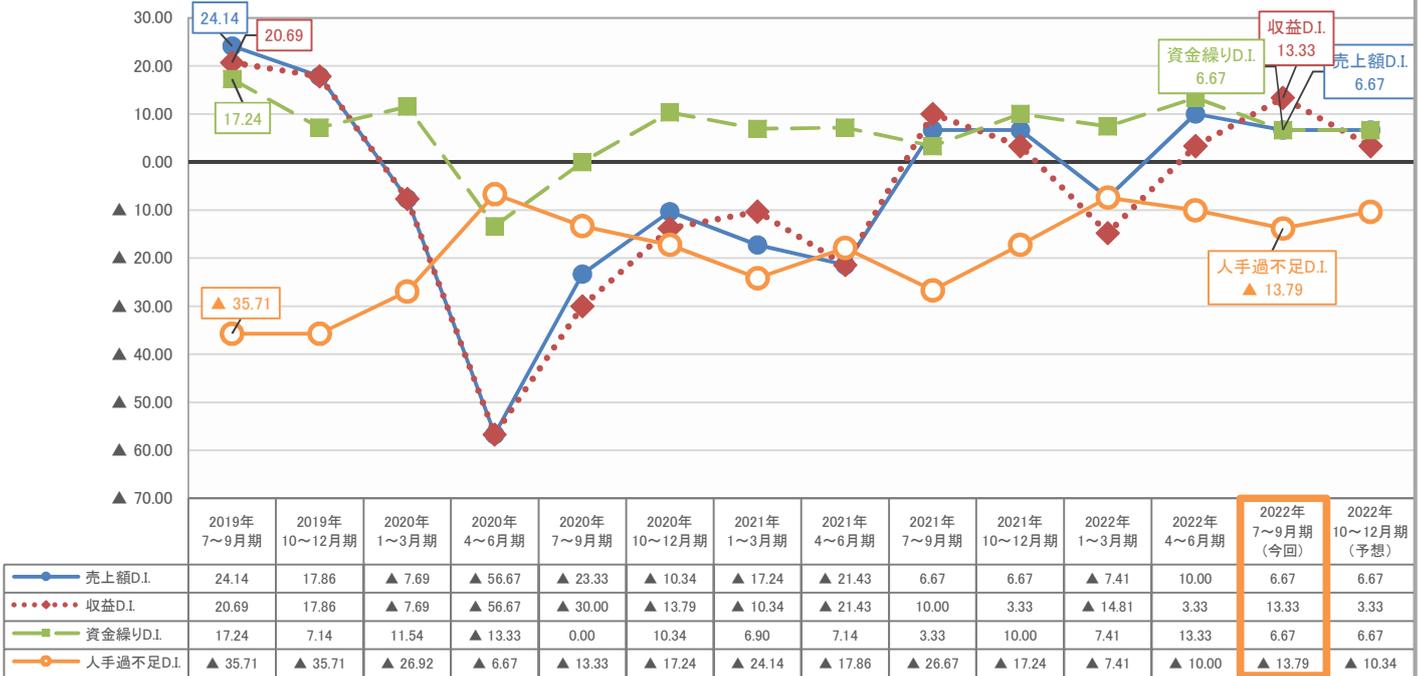
当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



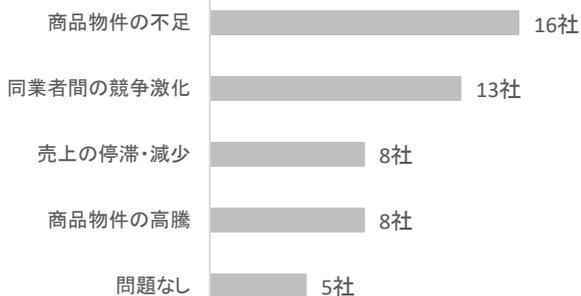
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は 13.33ポイントの改善、東播磨地域は 9.52ポイントの改善、姫路地域は 28.57ポイントの改善となり、全地域・地域別での改善となりました。来期は全地域・姫路地域で低下、東播磨地域は横ばいの予想となっています。



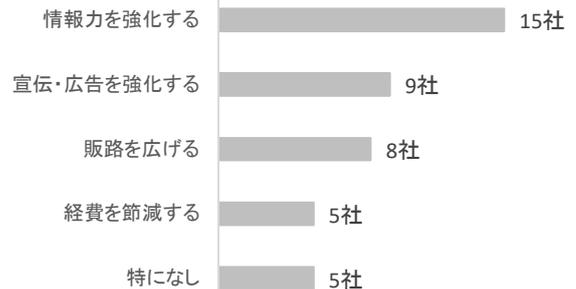
その他主要D.I. >> 収益D.I.が13.33と10.00ポイント改善したものの、売上額D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.は前期より低下しています。来期は人手過不足D.I.が改善、売上額D.I.・資金繰りD.I.が横ばい、収益D.I.は低下の予想となっています。



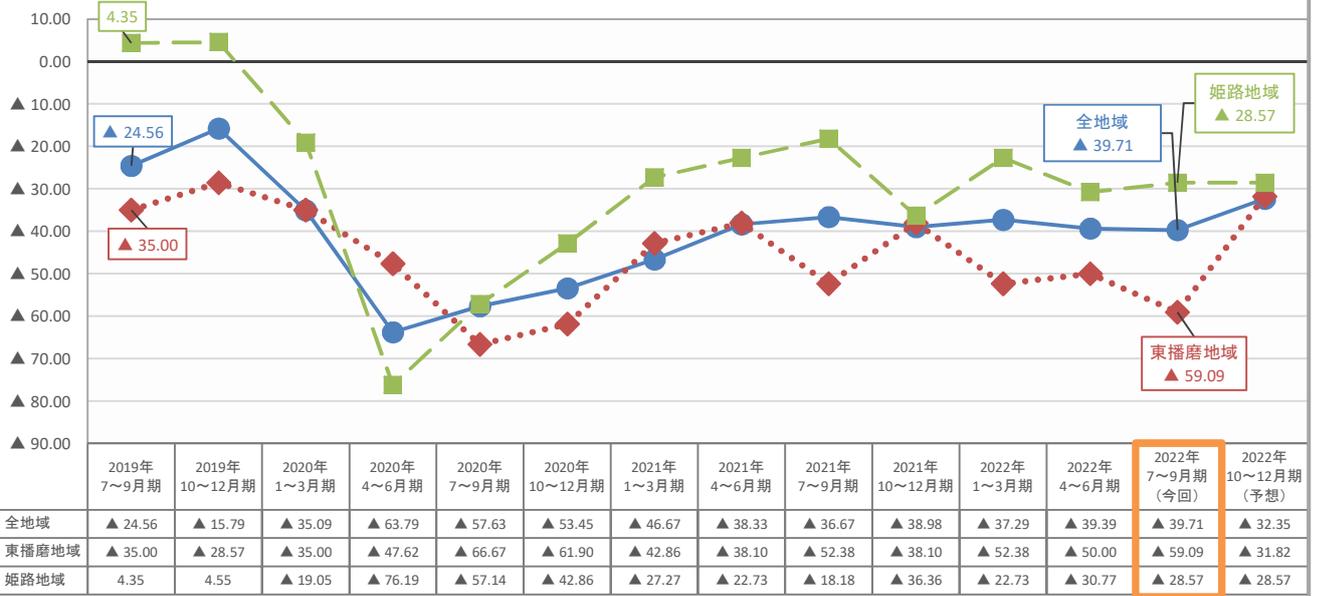
経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



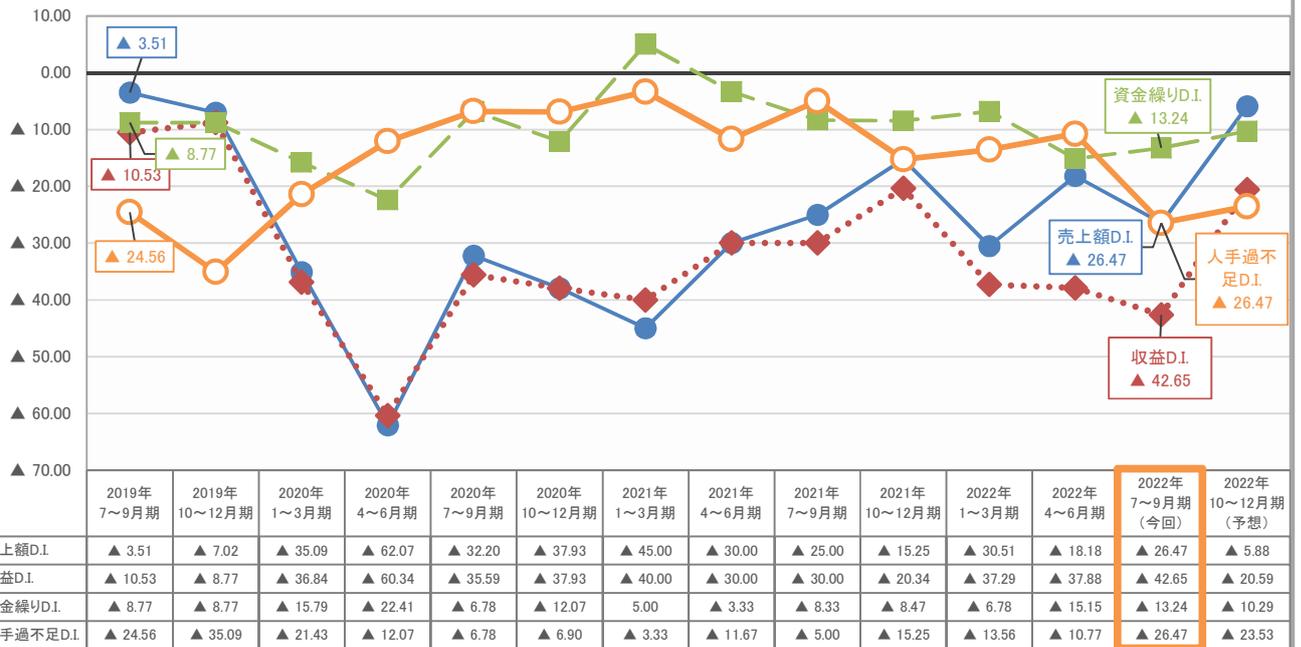
当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



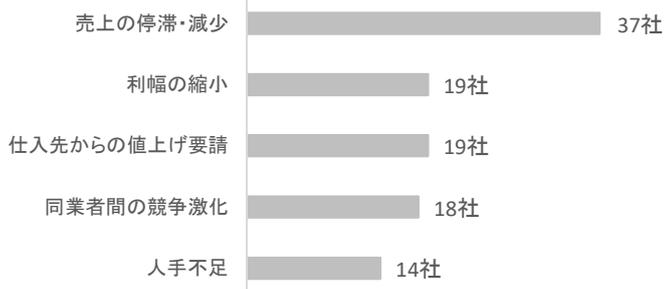
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は▲39.71と、前期から0.32ポイント低下しています。東播磨地域は▲59.09と9.09ポイント低下、姫路地域は▲28.57と2.20ポイント改善しています。来期は全地域・東播磨地域で改善、姫路地域では横ばいの予想となっています。



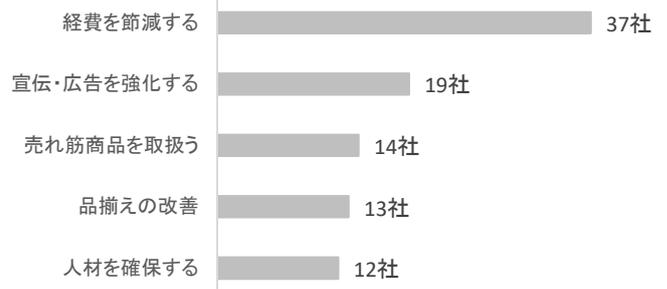
その他主要D.I. >> 資金繰りD.I.は前期から改善し、売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.は低下しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.のすべてで改善する予想となっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



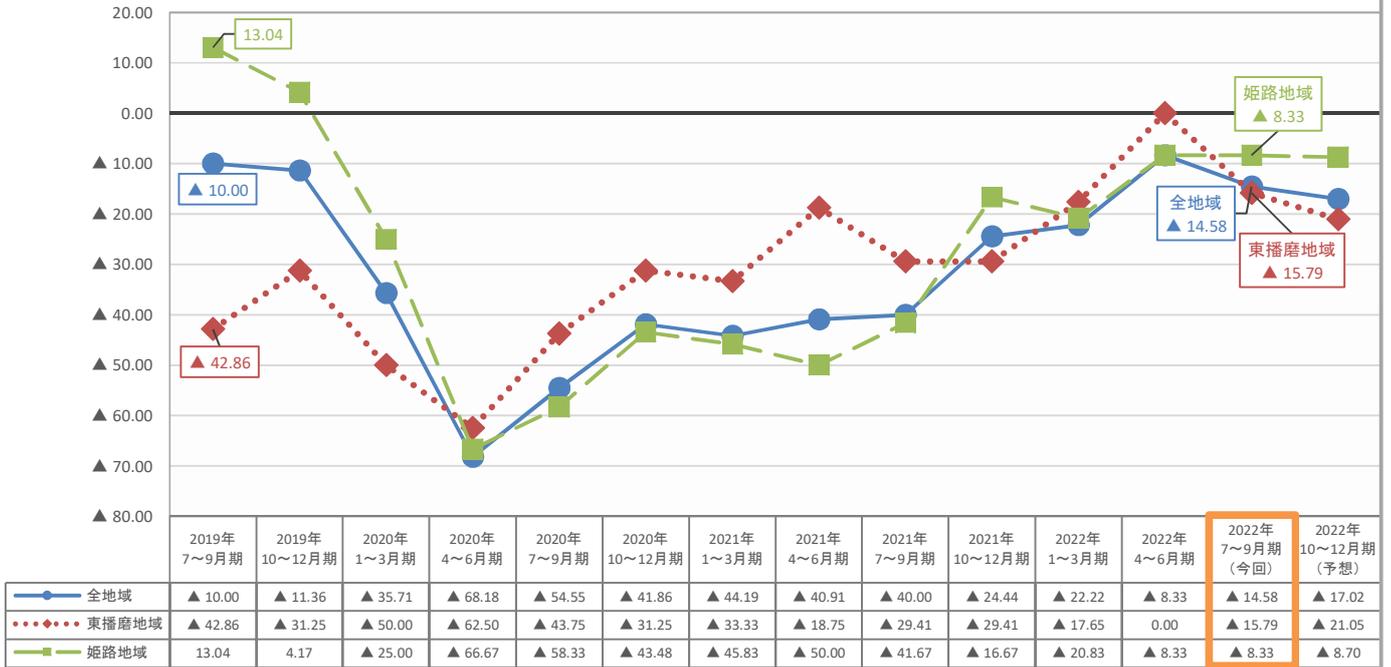
当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



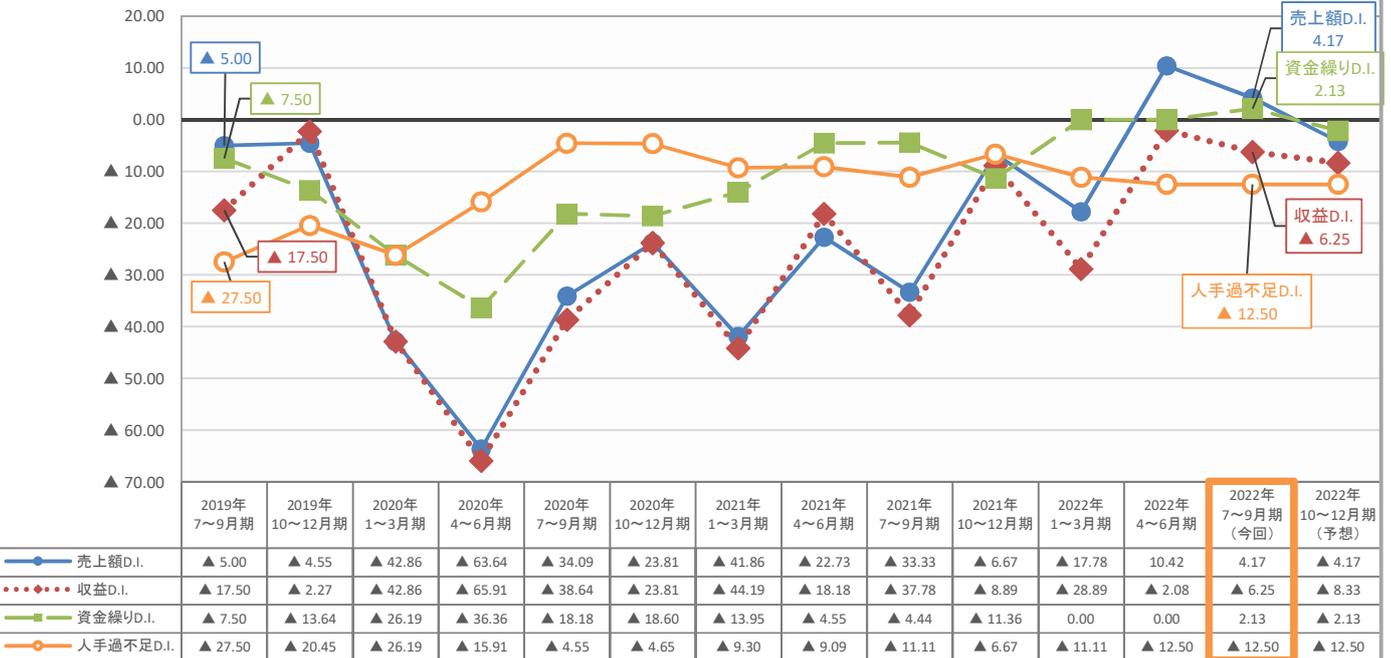
調査員コメント

・大型店進出やコロナ禍により、毎月赤字の状況。打開策がなく、苦しい業況(日用品・医薬品販売業)

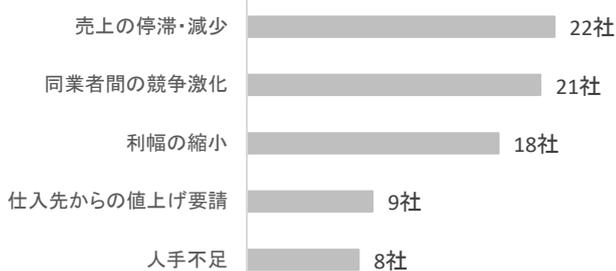
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は▲14.58 と、前期から 6.25 ポイント低下し、東播磨地域は 15.79 ポイント低下の ▲15.79、姫路地域は横ばいの▲8.33 の実績になりました。来期は全地域・地域別ともに低下する予想となっています。



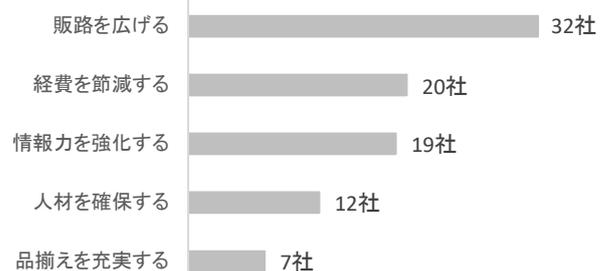
その他主要D.I. >> 資金繰りD.I.は前期から改善し、人手過不足D.I.は横ばい、売上額D.I.・収益D.I.は低下しています。来期は人手過不足D.I.は横ばい、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が低下する厳しい予想となっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

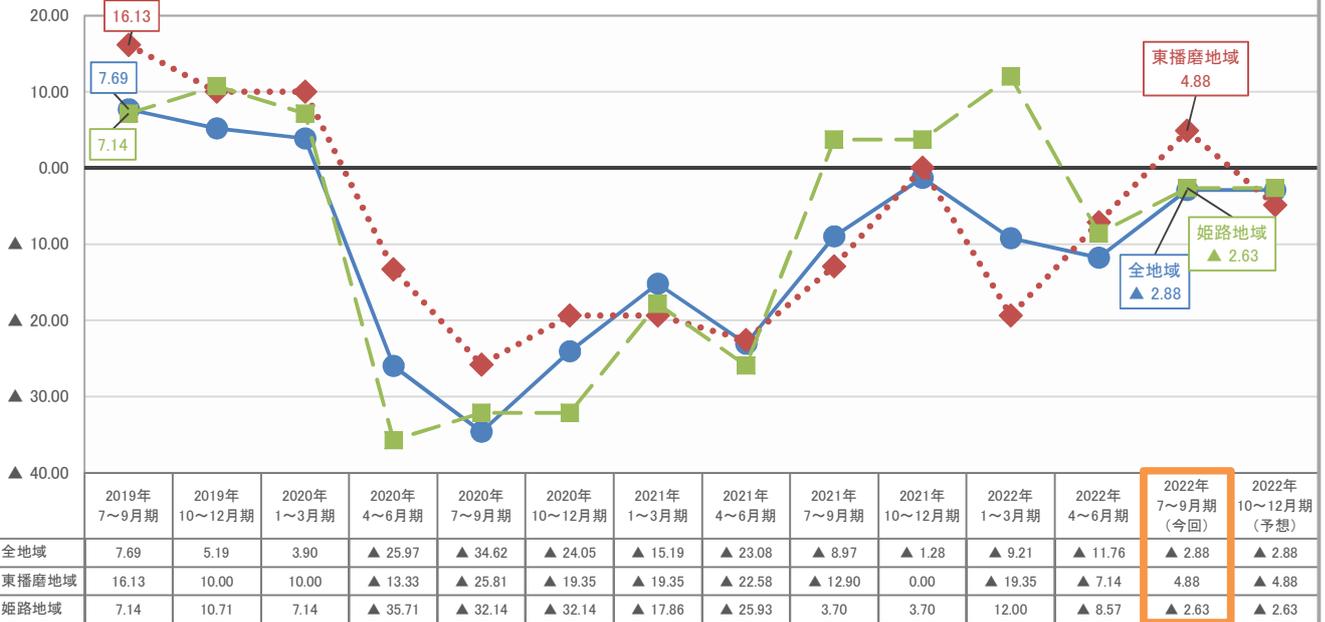


当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



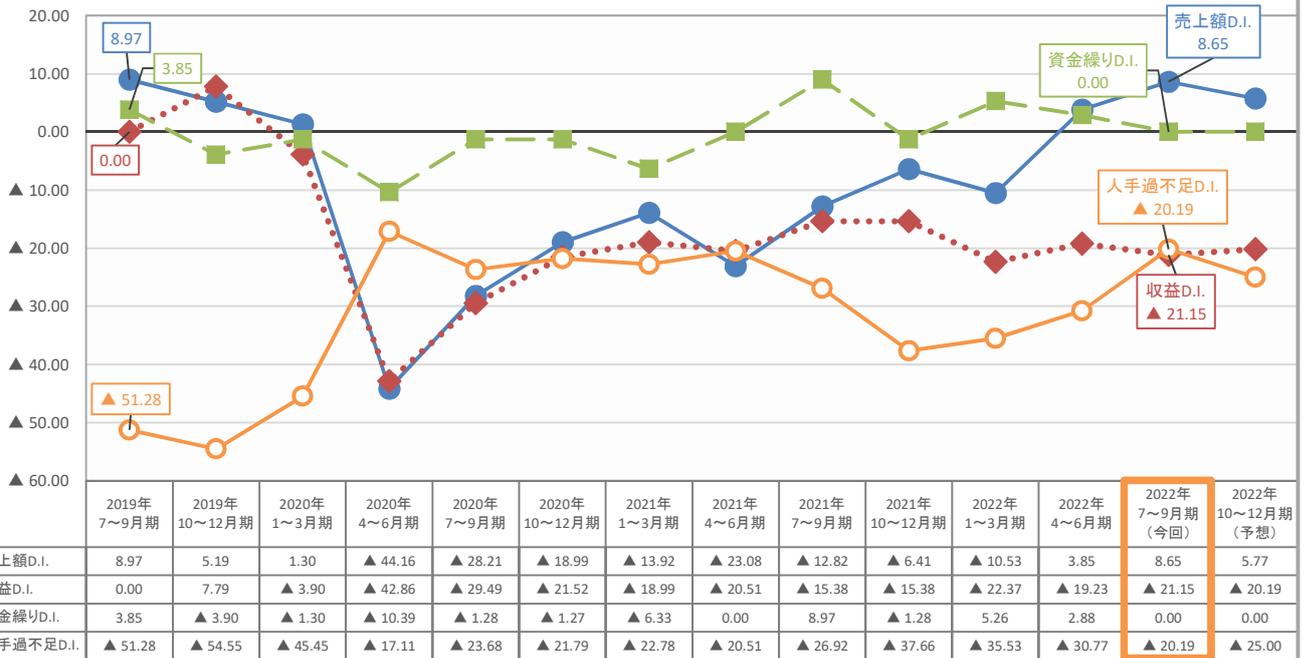
地域別業況D.I. >>

全地域の業況D.I.は▲2.88と前期から8.88ポイントの改善、東播磨地域は4.88と12.02ポイントの改善、姫路地域が▲2.63と5.94ポイントの改善となり、全地域・地域別で改善となりました。来期は全地域・姫路地域で横ばい、東播磨地域が低下する予想となっています。

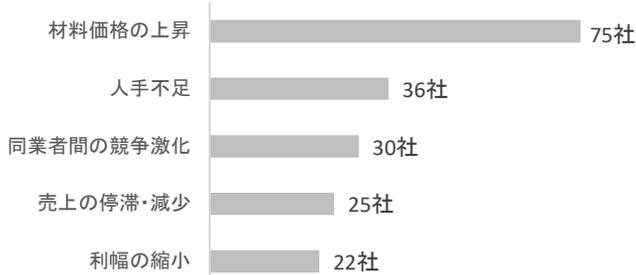


その他主要D.I. >>

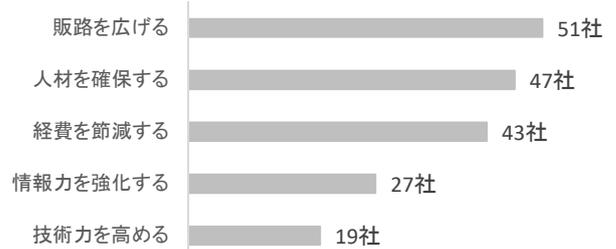
売上額D.I.・人手過不足D.I.は前期より改善し、収益D.I.・資金繰りD.I.が低下しています。来期は収益D.I.が改善、資金繰りD.I.は横ばい、売上額D.I.・人手過不足D.I.が低下の予想となっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

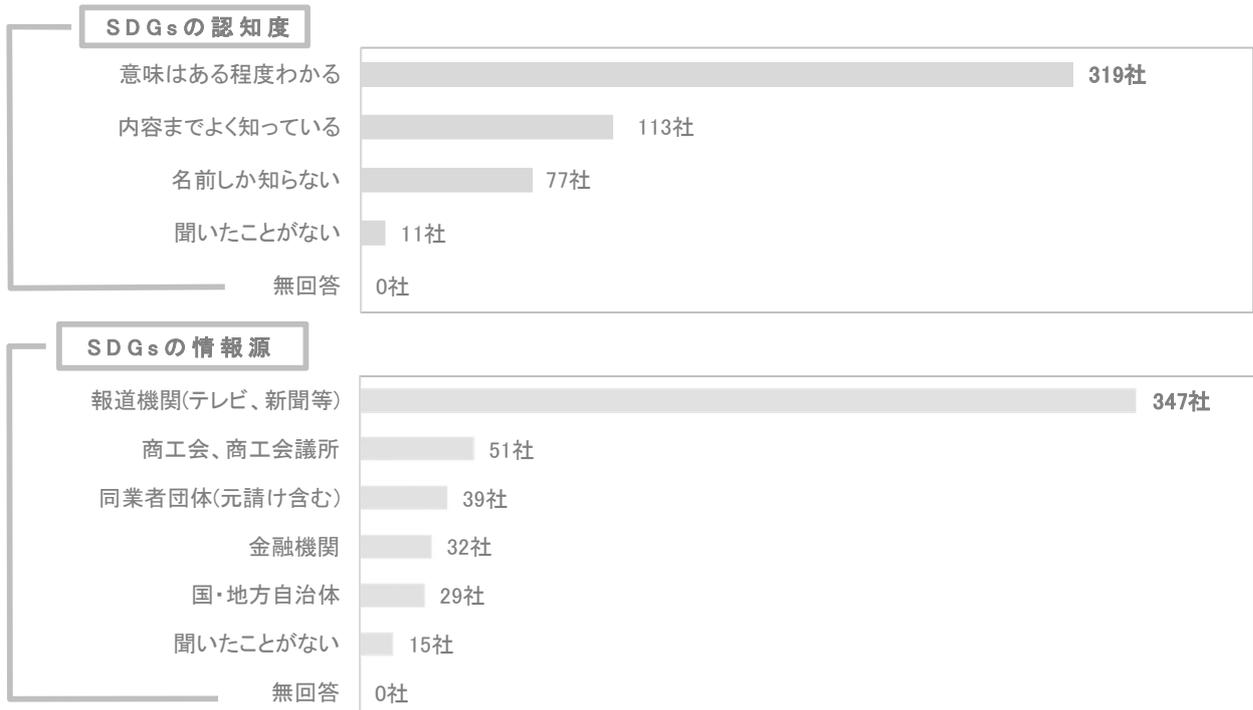


【その他の重点経営施策】・業務効率化、下請の確保など

特別調査 「中小企業におけるSDGs (持続可能な開発目標) の取組状況について」

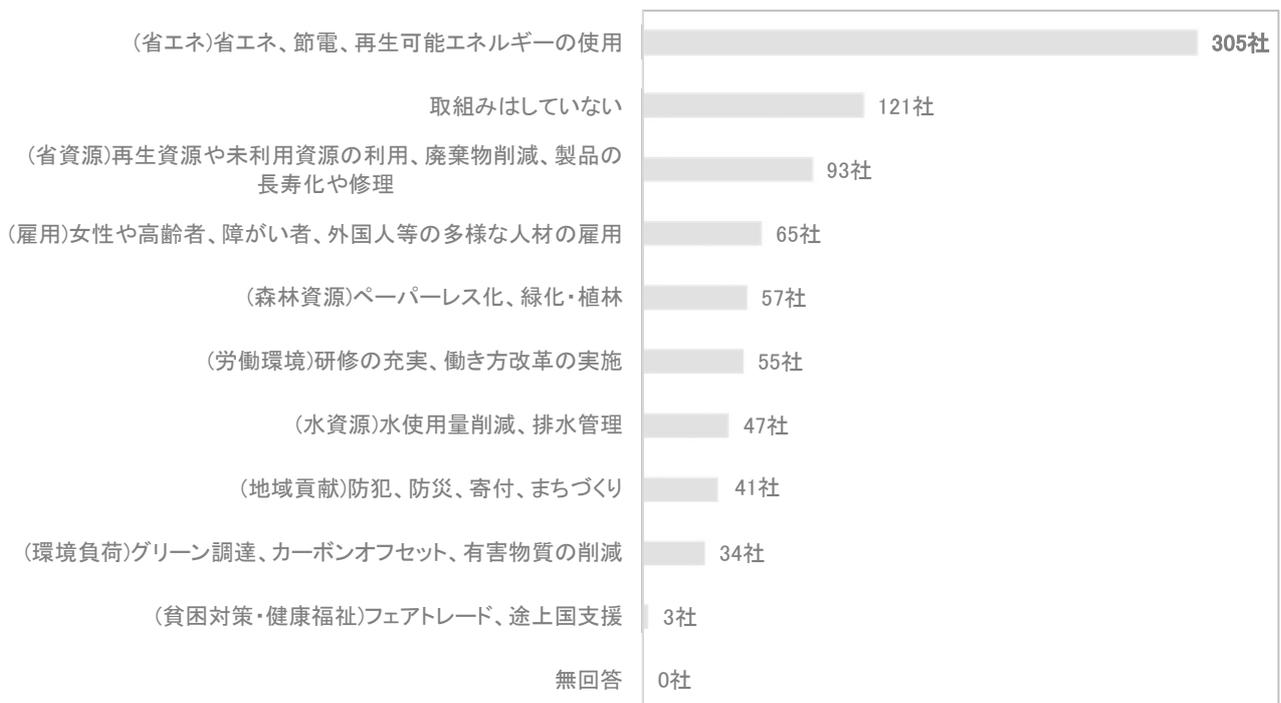
回答企業 518社 回答率 99.2%

問1 SDGsの認知度と情報源について



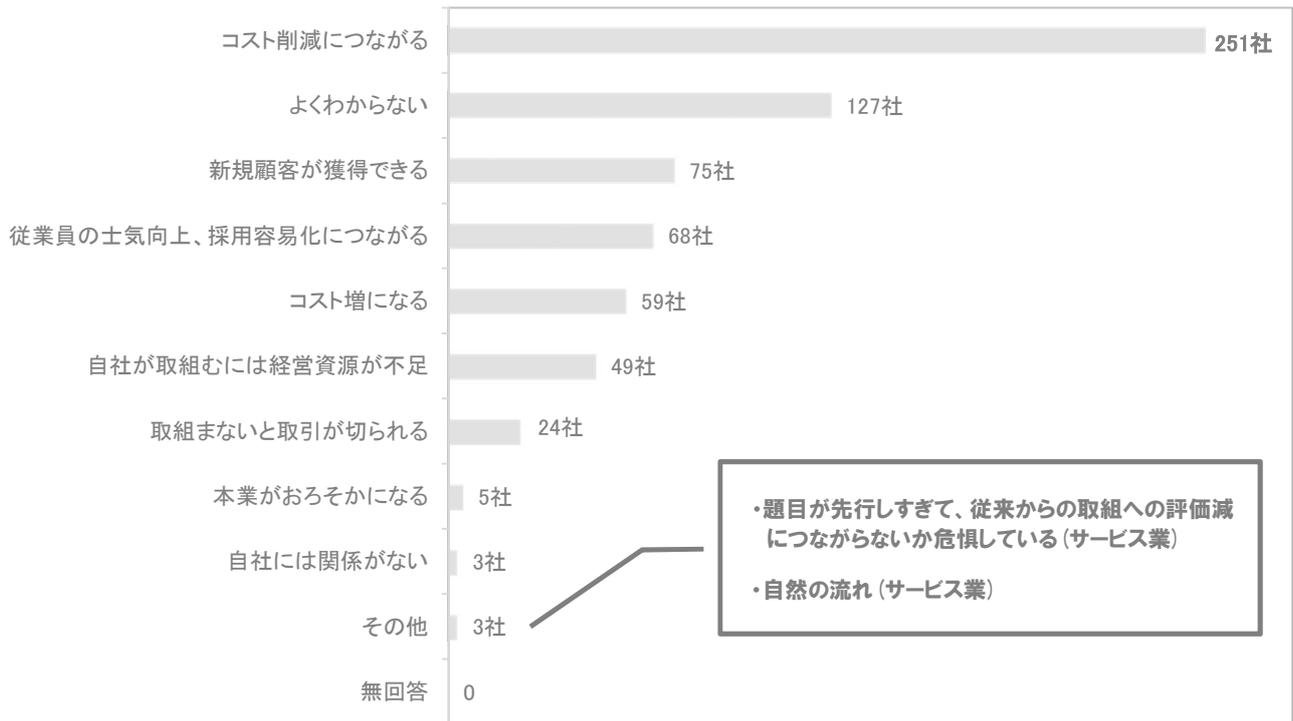
SDGsの認知度について「意味はある程度わかる」の回答が最も多く319社、次いで113社が「内容までよく知っている」、77社が「名前しか知らない」と回答しています。SDGsの情報源については、「報道機関(テレビ、新聞等)」の回答が最も多く347社、次いで51社が「商工会、商工会議所」、39社が「同業者団体(元請け含む)」と回答しています。

問2 SDGsについて取り組んでいること (複数回答最大3つ)



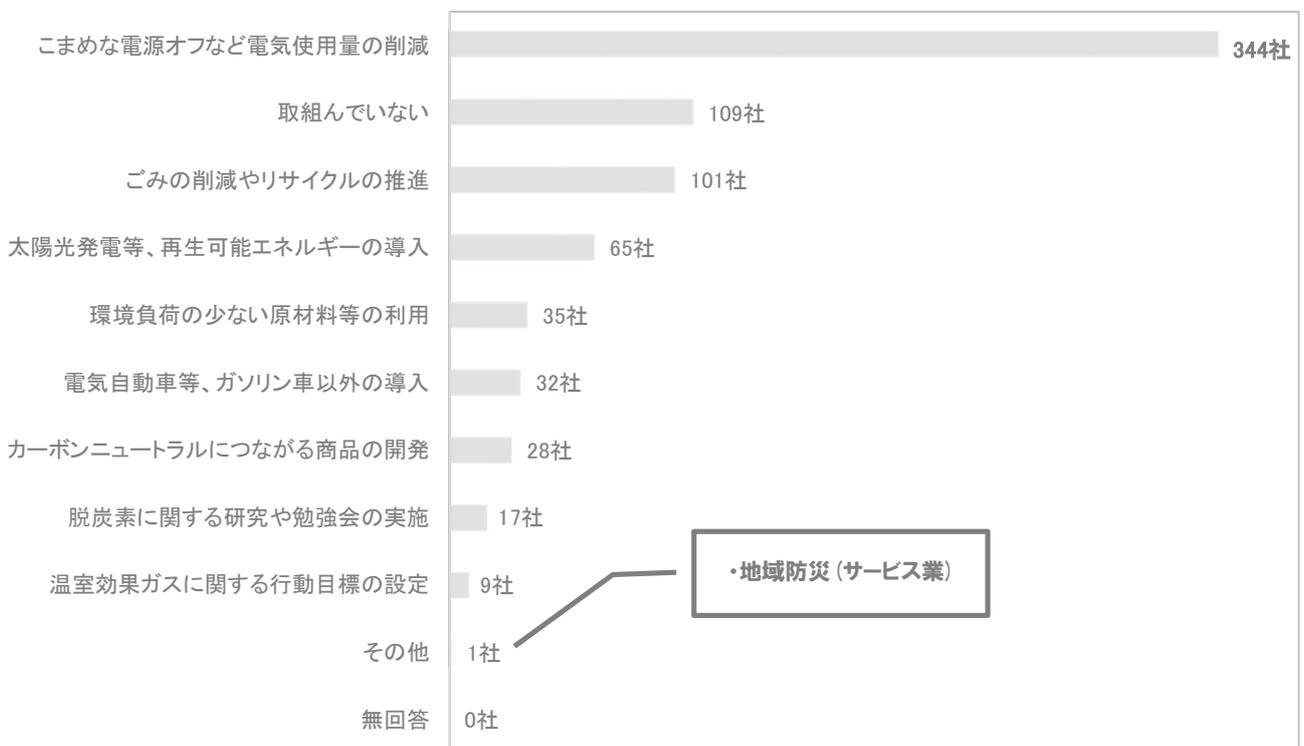
SDGsについて取り組んでいることは、「(省エネ)省エネ、節電、再生可能エネルギーの利用」の回答が最も多く305社、次いで121社が「取組みはしていない」、93社が「(省資源)再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理」と回答しています。

問3 企業がSDGsに取り組む印象について（複数回答最大3つ）



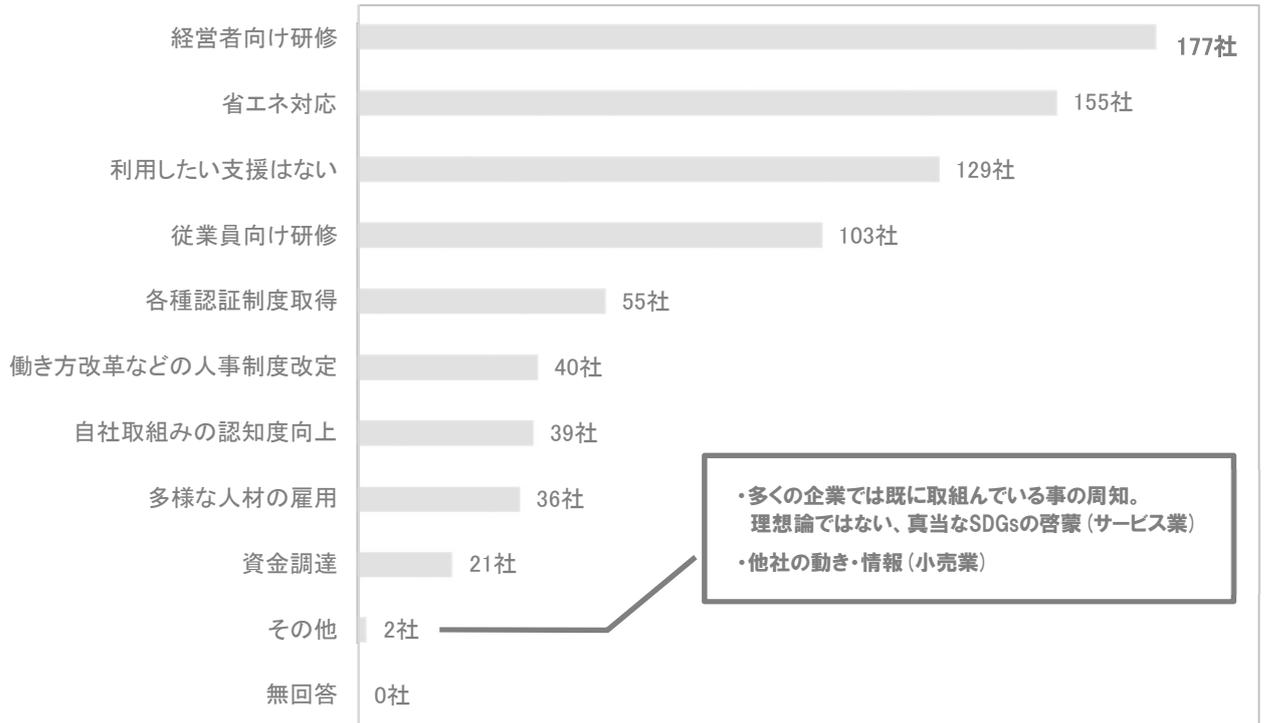
▶ 企業がSDGsに取り組む印象については、「コスト削減につながる」の回答が最も多く 251社、次いで 127社が「よくわからない」、75社が「新規顧客が獲得できる」と回答しています。

問4 SDGsの取組みの一つであるカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用保全及び強化)に関する施策について取組んでいること（複数回答最大3つ）



▶ SDGsについて取組んでいる施策は、「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」の回答が最も多く 344社、次いで 109社が「取組んでいない」、101社が「ごみの削減やリサイクルの推進」と回答しています。

問5 SDGsについて、外部機関(公的、民間問わず)から期待するサポート



▶ SDGsについて外部機関から期待するサポートは、「経営者向け研修」の回答が最も多く177社、次いで155社が「省エネ対応」、129社が「利用したい支援はない」と回答しています。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。投資等についてはご自身の判断によってください。

※ 本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫がその正確性および完全性を保証するものではありません。

